

主要問題

トピック	現状	見通し
サイバーセキュリティ	いまだモデル法に関するコメントを受け付けている段階 法案作成グループの座長は最新版の受け入れが増えているとの見方 新たなイノベーション作業部会長は、遅延している提案の最終決定を強く要請	ニューヨーク州保険局長官は、NAICに対して自州が制定した米国初の法律を採用することを強く要請 保険会社は、統一性が達成されるまでに多様なコンプライアンス要件の出現を予期することが必要
ビッグデータとイノベーション	規制当局は、保険会社および規制当局によるイノベーションやビッグデータの利用を受け入れる意向を表明	世界の規制当局の一部は、消費者にとって安全である限定的なイノベーションを実現するため、レギュラトリー・サンドボックス(規制の実験場)を設定した 消費者保護が大きな焦点となる見込み 規制当局によるビッグデータの利用は大きな変革であり(特に、市場行動にとって)、業界が準備を怠った場合、両者の間に情報の非対称性が発生する可能性
年金の販売	「最善の利益」基準が広範に受け入れられつつある模様	労働省(DOL)の規則の先行きにかかわらず、結局、年金販売に対する規制当局の精査が強化される見込み
グループ資本の算定法	算定方法の策定作業が進行中	業界のインプットを受け入れることが、全員にとって受諾可能な解決策となるはずである 表面化していないものの、算定方法が義務化される可能性への懸念
長期医療保険	長期医療保険(LTC)市場の財務健全性および将来の状況に関する懸念が表明され、作業部会を設置	保険会社は保証基金や賦課金の問題に関する改正に注意を払うことが望ましい
プリンシプルベースの準備金積み立て(PBR)	導入が順調に継続中	規制当局は研修や人員配置の必要性に注目しているが、影響を受ける保険会社も、PBRへの全面移行の準備を進めているため、同様の注意を払っている模様
コーポレートガバナンス開示	夏季会議における採用に向けてモデル作成が進められた	リスクとソルベンシーの自己評価(ORSA)の導入後、コーポレートガバナンス開示が保険会社にとって次の大きなコンプライアンス上の変更事項 ORSAを足がかりとすることが、保険会社にとって開示の準備を進める1つの方法となる可能性